

## 総合歯科医学研究所

## 硬組織疾患制御再建学部門

## 硬組織機能解析学ユニット

## 論文発表

Udagawa N, Koide M, Nakamura M, Nakamichi Y, Yamashita T, Uehara S, Kobayashi Y, Furuya Y, Yasuda H, Fukuda C and Tsuda E (2021) Osteoclast differentiation by RANKL and OPG signaling pathways. *J Bone Miner Metab* **39** : 19–26. doi:10.1007/s00774-020-01162-6

Ono-Ohmachi A, Yamada S, Uno S, Tamai M, Soga K, Nakamura S, Udagawa N, Nakamichi Y, Koide M, Morita Y, Takano T, Itoh T, Kakuta S, Morimoto C, Matsuoka S, Iwakura Y, Tomura M, Kiyono H, Hachimura S and Nakajima-Adachi H (2021) Effector memory CD4<sup>+</sup>T cells in mesenteric lymph nodes mediate bone loss in food-allergic enteropathy model mice, creating IL-4 dominance. *Mucosal Immunol* **14** : 1335–46. doi:10.1038/s41385-021-00434-2

Nishida D, Arai A, Zhao L, Yang M, Nakamichi Y, Horibe K, Hosoya A, Kobayashi Y, Udagawa N and Mizoguchi T (2021) RANKL/OPG ratio regulates odontoclastogenesis in damaged dental pulp. *Sci Rep* **11** : 4575. doi:10.1038/s41598-021-84354-y

Ishida M, Kawao N, Mizukami Y, Takafuji Y and Kaji H (2021) Influence of Angpt11 on osteoclast formation and osteoblastic phenotype in mouse cells. *BMC Musculoskelet Disord* **22** : 398. doi:10.1186/s12891-021-04278-6

Ishida M, Kawao N, Mizukami Y, Takafuji Y and Kaji H (2021) Serpinb1a suppresses osteoclast formation. *Biochemistry and Biophysics Reports* **26** : 101004. doi:10.1016/j.bbrep.2021.101004

Ehara H, Tatsumi K, Takafuji Y, Kawao N, Ishida M, Okada K, Mackman N and Kaji H (2021) Role of tissue factor in delayed bone repair induced by diabetic state in mice. *PLoS ONE* **16** : e0260754. doi:10.1371/journal.pone.0260754

Iwamoto R, Takahashi T, Yoshimi K, Imai Y, Koide T, Hara M, Ninomiya T, Nakamura H, Sayama K and Yukita A (2021) Chemokine ligand 28 (CCL28) negatively regulates trabecular bone mass by suppressing osteoblast and osteoclast activities. *J Bone Miner Metab* **39** : 558–71. doi:10.1007/s00774-021-01210-9

Nishikawa K, Seno S, Yoshihara T, Narazaki A,

Sugiura Y, Shimizu R, Kikuta J, Sakaguchi R, Suzuki N, Takeda N, Semba H, Yamamoto M, Okuzaki D, Motooka D, Kobayashi Y, Suematsu M, Koseki H, Matsuda H, Yamamoto M, Tobita S, Mori Y and Ishii M (2021) Osteoclasts adapt to physioxia perturbation through DNA demethylation. *EMBO Rep* **22** : e53035. doi:10.15252/embr.202153035

岡添 忍, 中村浩志, 中村美どり, 栗原康生, 加藤那奈, 森山敬太, 正村正仁, 大須賀直人 (2021) 上顎前歯部に3本の過剰歯を認めた1例. *松本歯学* **47** : 39–47

## 招待講演

Bone biology forum (第17回) 2021年9月  
セッションII 骨吸収と骨形成におけるWntシグナルの役割: 小林泰浩 (第17回 Bone biology forum プログラム: p7)

日本骨代謝学会学術集会 (第39回) 2021年10月  
第39回日本骨代謝学会学術集会 シンポジウム5 「Wntの基礎から臨床応用まで: 2021 Update」骨リモデリングとWntシグナル: 小林泰浩 (第39回日本骨代謝学会学術集会プログラム抄録集: p41)

## 学会発表

日本小児歯科学会全国大会 (第59回) 2021年6月  
上顎前歯部に3歯の過剰歯がみられた1例: 岡添忍, 中村浩志, 中村美どり, 栗原康生, 森山敬太, 正村正仁, 大須賀直人 (*小児歯科学雑誌* **59**(suppl-2) p148)

松本歯科大学学会 (第91回) 2021年7月  
Macrophages promote bone regeneration through the activation of LepR (+) cells: 何 治鋒, 溝口利英, 平賀 徹, 村上康平, 中道裕子, 山下照仁, 小出雅則, 宇田川信之, 小林泰浩 (講演要旨集: 演題8)

細胞老化の骨芽細胞分化に対する影響: 松井龍一, 石田昌義, 上原俊介, 宇田川信之, 吉成伸夫, 小林泰浩 (講演要旨集: 演題13)

日本骨代謝学会学術集会 (第39回) 2021年10月  
RANKL/OPG比は損傷した歯髄における破歯細胞形成を調節する: 西田大輔, 荒井 敦, 堀部寛治, 中道裕子, 細矢明宏, 中村浩彰, 小林泰浩, 宇田川信之, 溝口利英 (第39回日本骨代謝学会学術集会プログラム抄録集: p141, 代5–08)

マクロファージはLepR陽性細胞を活性化し骨再生を促進する: 何 治鋒, 溝口利英, 平賀 徹, 村上康平, 中道裕子, 山下照仁, 小出雅則, 宇田川信之, 小林泰浩 (第39回日本骨代謝学会学術集会プログラム抄録集: p145, 代8–04)

ケモカインリガンド28 (CCL28) は骨芽細胞及び破骨細胞活性化を抑制することで海綿骨量を負に制御する：岩本莉奈, 高橋拓実, 二宮 禎, 中村浩彰, 雪田 聡 (第39回日本骨代謝学会学術集会プログラム抄録集：p66, 代9-07)

歯科基礎学会学術大会 (第63回) 2021年10月

RANKL/OPG 比は損傷した歯髄における破骨細胞形成を調節する：西田大輔, 荒井 敦, 堀部寛治, 中道裕子, 細矢明宏, 中村浩彰, 小林泰浩, 宇田川信之 (第63回歯科基礎学会学術大会抄録集 J Oral Biosci Suppl：p130, 1-P1-PM23)

松本歯科大学学会 (第92回) 2021年11月

骨芽細胞の性差に関与する遺伝子の網羅的解析と Serpina3n の役割：石田昌義 (講演要旨集：演題11)

ケモカインリガンド28 (CCL28) は骨芽細胞及び破骨細胞活性化を抑制することで海綿骨量を負に制御する：岩本莉奈, 高橋拓実, 中村浩彰, 雪田 聡 (講演要旨集：演題12)

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

青木和広, 林 智広, 秋吉一成, 本間 雅, 宇田川信之：骨形成を促進する RANKL 逆シグナルスイッチの最適化から新規骨形成促進薬開発へ (基盤研究 A)

齋藤直人, 手嶋勝弥, 宇田川信之, 湯田坂雅子, 佐藤義倫：癌転移骨環境を空間的・時間的に制御する生体活性付加カーボンの開発と安全性評価 (基盤研究 A)

宇田川信之, 小出雅則, 小林泰浩, 中道裕子, 中村美どり, 山下照仁, 上原俊介：歯槽骨再生を目指した RANKL-Siglec-15 シグナル分子基盤の解明 (基盤研究 B)

中道裕子, 宇田川信之, 堀部寛治, 岩本莉奈：遺伝子発現オン・オフゲノム編集統合的スクリーニングを用いた骨再生制御因子の同定 (基盤研究 B)

吉田明弘, 宇田川信之, 吉成伸夫, 阪本泰光, 三好智博, 高橋晋平：ロイコトキシン受容体相互作用に関する分子基盤の解明と新規歯周炎ワクチンの開発 (基盤研究 B)

中道裕子, 宇田川信之, 堀部寛治, 岩本莉奈：高感度レポーターシステムとプロテオゲノミクスによる代謝性骨疾患治療標的分子の同定 (国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化 B))

中村美どり, 中村浩志, 宇田川信之, 大須賀直人, 山下照仁, 上原俊介：成長発育過程における骨形成抑制因子スクレロスタチンの役割の解明 (基盤研究 C)

上原俊介, 小林泰浩：プロテインキナーゼ N3 による破骨細胞機能制御機構の解明とその臨床応用 (基盤研究 C)

石田昌義：雌特異的な骨芽細胞における性差シグナル系の解明と骨粗鬆症治療法への応用 (基盤研究

C)

吉成伸夫, 尾崎友輝, 石原裕一, 田口 明, 宇田川信之：老化制御による歯周病・動脈硬化症関連性への分子基盤の解明 (基盤研究 C)

石原裕一, 小出雅則, 吉成伸夫, 中本哲自, 田口明：血清中 IL-1 受容体補助タンパク濃度を用いた新規歯周病マーカーの開発 (基盤研究 C)

北川教弘, 岡 千緒, 別所康全, 山下照仁：破骨細胞における DAPI2 を介した ITAM シグナル経路を制御する分子機構の解明 (基盤研究 C)

小林泰浩, 小出雅則, 村上康平, 上原俊介：幹細胞の分化を司る組織常在型 M3 マクロファージとそのマスター転写因子の同定 (挑戦的研究 (開拓))

宇田川信之, 小出雅則, 中道裕子, 中村美どり, 山下照仁, 上原俊介：骨・循環器・消化器におけるオステオプロテゲリンの知られざるネットワーク機構の解明 (挑戦的研究 (萌芽))

中道裕子, 堀部寛治, 岩本莉奈, 宇田川信之：Wnt シグナル活性を指標としたプロテオゲノミクス探索解析による骨形成促進薬の開発 (挑戦的研究 (萌芽))

小出雅則, 小林泰浩, 山下照仁, 村上康平, 尾崎友輝：骨代謝一脱共役機構の統合的解明を起点にした新たな骨および歯周疾患治療薬の開発 (挑戦的研究 (萌芽))

岩本莉奈：異端 Wnt 受容体 Ryk シグナルによる骨形成制御機構の解明 (研究活動スタート支援)

その他の研究助成

宇田川信之, 中道裕子：メタボリック症候群治療を目指したビタミン D と Wnt 伝達機構に関する基礎的研究 (中外製薬, 研究活動の支援)

硬組織制御再建学部門

遺伝子・再生工学ユニット

論文発表

Innami M, Okumura M, Otogoto J, Kondo E, Sogawa N, Niwa M, Ogasawara T and Tomida M (2021) Effect of Tongue and Lip Motor Training for Cognitive Function in Older People: – The Relationship of Pral Function and Cognitive Function. J Med-Clin Res & Rev 5(7) : 1-8

学会発表

第94回日本薬理学会年会 2021年3月 (札幌) (ハイブリッド開催)

Astrocyte-microglia interaction promotes rote-

none-induced dopaminergic neurotoxicity: Miyazaki I, Kikuoka R, Isooka N, Murakami S, Sogawa C, Sogawa N, Kitamura Y and Asanuma M (第94回日本薬理学会年会抄録集: 1-P1-26)

第62回日本神経学会学術大会 2021年5月(京都)  
(ハイブリッド開催)

Rotenone-induced dopaminergic neurotoxicity mediated by astrocyte-microglia interaction: Miyazaki I, Kikuoka R, Isooka N, Murakami S, Sogawa C, Sogawa N, Kitamura Y and Asanuma M (Pe-01-9)

第15回パーキンソン病・運動障害疾患コンgres (MDSJ) 2021年7月(仙台)(ハイブリッド開催)

中脳グリア細胞を介したロテノン誘発ドパミン神経特異的神経障害とそのメカニズムに関する検討: 宮崎育子, 菊岡 亮, 磯岡奈未, 村上真樹, 十川千春, 十川紀夫, 北村佳久, 浅沼幹人 (P-61)

第43回日本生物学的精神医学会・第51回日本神経精神薬理学会合同年会 2021年7月(京都)(ハイブリッド開催)

アストロサイト-ミクログリア連関がもたらす農薬ロテノン誘発ドパミン神経障害: 宮崎育子, 菊岡 亮, 磯岡奈未, 村上真樹, 十川千春, 十川紀夫, 北村佳久, 浅沼幹人 (P1-16)

第29回硬組織再生生物学会 2021年8月(岡山)  
(WEB 開催)

卵巣摘出骨粗しょう症モデルにおける骨内メタロチオネイン発現の検討: 十川千春, 池亀美華, 宮崎育子, 浅沼幹人, 十川紀夫

第63回歯科基礎医学会学術大会 2021年10月(横浜)(WEB 開催)

メタロチオネイン-1, 2欠損マウスの味覚嗜好性の変化: 保浦七愛, 乾 賢, 蘇 韶懿, 吉澤知彦, 十川紀夫, 船橋 誠 (J Oral Biosci Suppl 2021: 267, 2-P2-P62)

メタルバイオサイエンス研究会2021 2021年10月(横浜)(ハイブリッド開催)

LPS 投与による機械的刺激反応閾値低下における金属結合タンパク質メタロチオネインの関与: 十川紀夫, 奥村雅代, 宮崎育子, 富田美穂子, 金銅英二, 十川千春, 浅沼幹人 (The Japanese Society of Toxicology 8 卷 Supplement 2021, p107, P-24)

アストロサイト-ミクログリア連関を介したロテノン誘発ドパミン神経障害へのメタロチオネインの関与: 宮崎育子, 菊岡 亮, 磯岡奈未, 村上真樹, 十川千春, 十川紀夫, 北村佳久, 浅沼幹人 (The Japanese Society of Toxicology 8 卷 Supplement 2021, p65, O-4)

メタロチオネイン欠損マウスにおける脳梁形成不全: 正井加織, 菊岡 亮, 名越 武, 十川千春, 十川紀夫, 宮崎育子, 浅沼幹人 (The Japanese Society of Toxicology 8 卷 Supplement 2021, p108, P-25)

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

十川紀夫 (代表): 光遺伝学を利用した金属結合タンパク質の発現制御による口腔癌治療の基盤構築(基盤研究 C [分担: 今村泰弘, 十川千春, 荒 敏昭, 宮崎育子, 村上 聡])

今村泰弘: 唾液蛋白質によるステロイド薬の副作用軽減とウイルス誘発性炎症の抑制機構解明(基盤研究 C [分担: 三好智博, 雪田 聡, 十川紀夫])

## 硬組織制御再建学部門

### 硬組織疾患病態解析学ユニット

#### 論文発表

谷内秀寿, 高谷達夫, 大木絵美, 伊能利之, 徳田吉彦, 黒岩博子, 岡藤範正, 宇田川信之 (2021) 2018年度入門歯科医学実習における歯科交流授業中学生と歯科大学学生の感想文の解析. 松本歯学 46 (2): 70-87

福田千晶, 富永憲俊, 岡藤範正, 吉川仁育 (2021) てんかんを合併した骨格性上顎前突症に対しての一症例. 松本歯学 47(1): 48-57

川原良美, 横井由紀子, 丸山步美, 岡藤範正, 川原一郎 (2021) Kippel-Trenaunay-Weber syndrome 2 症例の顎顔面頭蓋の歯科矯正的特徴. 松本歯学 47 (1): 58-66

楓 公士朗, 三原正志, 荒井 敦, 徳田吉彦, 薄井陽平, 岡藤範正 (2021) 上顎両側埋伏犬歯に起因する側切歯歯根吸収により両側側切歯を抜歯し, 側切歯部に犬歯の排列を行った骨格性下顎前突症例. 松本歯学 47(2): 107-18

#### 学会発表

第70回日本口腔衛生学会学術大会・総会 2021年5月(Web 開催)

第4級アンモニウム塩を用いた抗菌歯ブラシの抗菌効果の検討: 三原正志, 荒井 敦, 小川 宏, 岡藤範正, 吉田明弘 (口腔衛生学会雑誌 71: P119)

第31回日本顎変形症学会総会学術大会 2021年6月(仙台)

Binder's syndrome 患者の鼻低形成に対し, 成長期に肋軟骨移植を行った1例: 村岡理奈, 倉科勇太, 羽鳥 遼, 中野翔太郎, 津村智信, 影山 徹, 岡藤範正 (日本顎変形症学会雑誌 31(2): P134)

第36回甲北信越矯正歯科学会学術大会 2021年6月(Web 開催)

上下顎前歯部叢生を伴う Angle Class II subdivision 症例: 津村智信, 川原良美, 影山 徹, 岡藤範正 (甲北信越矯正歯科学会雑誌 29(1): P59)

前歯部唇側傾斜を伴う Angle Class II subdivision 症例：西村恵子，川原良美，影山 徹，岡藤範正（甲北信越矯正歯科学会雑誌 29(1)：P59）

第80回日本矯正歯科学会学術大会 & 第5回国際会議 2021年11月（横浜）

クワドヘリックスにおけるヘリックスの力学的効果 有限要素法による研究：鴨居愛子，横井由紀子，吉田拓真，原田鍊平，河村 純，川原良美，岡藤範正（プログラム抄録集：P171）

ループスプリングによる抜歯空隙閉鎖のメカニクス 有限要素法による研究：原田鍊平，横井由紀子，宮脇理功，鴨居愛子，河村 純，川原良美，岡藤範正（プログラム抄録集：P172）

第91回松本歯科大学学会（総会） 2021年7月

有限要素法による W アーチの力学的研究：鴨居愛子，横井由紀子，吉田拓真，原田鍊平，川原良美，岡藤範正

ループスプリングによる抜歯空隙閉鎖のメカニクス—有限要素法による研究—Mechanics of extraction space closure with vertical loop retraction springs—Finite-element study—：原田鍊平，横井由紀子，宮脇理功，鴨居愛子，川原良美，岡藤範正

#### その他の学術著作物

横井由紀子，大塚 淳，河村 純，内田啓一，岡藤範正（2021）臨床に向けた最近の研究動向から 有限要素法によるマウスピース型咬合誘導装置の研究（第1回）有限要素法による歯の移動のシミュレーション．日本歯科評論 81(1)：144-6

横井由紀子，大塚 淳，河村 純，内田啓一，岡藤範正（2021）臨床に向けた最近の研究動向から 有限要素法によるマウスピース型咬合誘導装置の研究（第2回）マウスピース型咬合誘導装置による反対咬合改善のメカニズム．日本歯科評論 81(2)：146-8

横井由紀子，大塚 淳，高谷達夫，河村 純，内田啓一，岡藤範正（2021）臨床に向けた最近の研究動向から 有限要素法によるマウスピース型咬合誘導装置の研究（第3回）マウスピース型咬合誘導装置による反対咬合の症例．日本歯科評論 81(3)：150-2

岡藤範正，高谷達夫，荒井 敦，横井由紀子（翻訳）（2021）クリアアライナーを用いた矯正的歯の移動のコントロール 有効性と効率性に関する最新システマティックレビュー．Journal of Aligner Orthodontics 日本版 1：17-37

岡藤範正（監修）（2021）知っておきたい矯正歯科学の基本の「き」1．Journal of Aligner Orthodontics 日本版 1：98-9

岡藤範正（監修）（2021）論文・症例を読み解くためのアライナー・キーワード．Journal of Aligner Orthodontics 日本版 1：100-1

#### 顎口腔機能制御学部門

#### 咀嚼機能解析学ユニット

#### 論文発表

Matsuo K, Kito N, Ogawa K, Izumi A, Kishima M, Itoda M and Masuda Y (2021) Improvement of oral hypofunction by a comprehensive oral and physical exercise program including textured lunch gatherings. J Oral Rehabil 48(4)：411-21. doi:10.1111/joor.13122

Hijiya K, Masuda Y, Miyamoto T, Shimonod R, Katoe T, Kageyama T and Yamada K (2021) Age-related differences in maximum voluntary lip-closing force and ability to control lip-closing force. J Oral Biosci 63：210-6. doi:10.1016/j.job.2021.02.002

#### 学会発表

日本老年歯科医学会第32回学術大会 2021年6月（Web開催）

地域高齢者における口腔機能低下症とサルコペニアとの関連性—カムカム弁当複合プログラム（1）—：澤崎 巧，松尾浩一郎，鬼頭紀恵，関本 愉，小川康一，泉 綾子，貴島真佐子，糸田昌隆，増田裕次（老年歯学 36：149）

カムカム弁当運動複合プログラムの口腔機能低下症への効果—カムカム弁当複合プログラム（2）—：関本 愉，松尾浩一郎，鬼頭紀恵，澤崎 巧，小川康一，泉 綾子，貴島真佐子，糸田昌隆，増田裕次（老年歯学 36：149）

第63回歯科基礎医学会学術大会 2021年10月（Web開催）

離乳後のラット咀嚼筋活動の長期的変化：山田雅治，片桐綾乃，増田裕次，佐藤 元，豊田博紀，丹羽 均，加藤隆史（歯科基礎誌）

第92回松本歯科大学学会 2021年11月

口唇トレーニングの効果—口腔周囲筋の筋疲労と顎下部の形態変化—：山田紗織，富士岳志，増田裕次（第92回松本歯科大学学会講演要旨集：p8）

日本顎口腔機能学会第66回学術大会 2021年12月（Zoom開催）

ラットの離乳後における咀嚼動態の変化：山田雅治，片桐綾乃，増田裕次，豊田博紀，丹羽 均，加藤隆史（日本顎口腔機能学会第66回学術大会事前抄録集，26-27）

日本摂食嚥下リハビリテーション学会第26・27回合同学術大会 2021年8月

学会シンポジウム：JSDR スポンサーセッション JST 戦略的国際共同研究プログラム（SICORP）自立高齢者を増やすための食品開発 咀嚼の効用～

フレイル・オーラルフレイル予防をめざして～：増田裕次

### 講演会

長野県シニア大学 2021年6月(松本・大町)  
口が健康であることの意義—噛むことの効用—：  
増田裕次

塩尻ロマン大学 2021年8月(塩尻)  
口は「幸せ」のもと—口腔機能の向上で健康生活—：  
増田裕次

第27回咀嚼と健康ファミリーフォーラム「咀嚼と健康を考える2」2021年12月  
良い咀嚼を！咀嚼の健康維持：増田裕次

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

増田裕次：顎口腔運動学習による嚥下関連高次脳ネットワーク再構築を検証する(基盤研究C [分担：代表者 真柄 仁])

その他の研究補助金による研究

増田裕次：自立高齢者を増やすための食品開発と運動療法を組み合わせた革新的システムの開発(戦略的国際共同研究プログラム 日本—スウェーデン国際産学連携共同研究 JST [分担：代表者 松尾浩一郎])

### 顎口腔機能制御学部門 生体調節制御学ユニット

#### 学会発表

メタルバイオサイエンス研究会2021 2021年10月(横浜)

LPS投与による機械的刺激反応閾値低下における金属結合タンパク質メタロチオネインの関与：十川紀夫、奥村雅代、宮崎育子、富田美穂子、金銅英二、十川千春、浅沼幹人

### 健康増進口腔科学部門 口腔健康分析学ユニット

#### 論文発表

船山ひろみ、齋藤桂子、森川和正、仲野和彦、飯沼光生、清水武彦、下村—黒木淳子、馬場篤子、内川喜盛、島田幸恵、齊藤正人、倉重圭史、福田敦史、八若保孝、島村和宏、早崎治明、大島邦子、関本

恒夫、大須賀直人、星野倫範、新谷誠康、辻野啓一郎、荻部洋行、白川哲夫、岩本 勉、宮新美智世、船津敬弘、木本茂成、浅里 仁、守安克也、長谷川信乃、大川玲奈、有田憲司、原田京子、香西克之、岩本優子、仲野道代、平野慶子、北村尚正、牧 憲司、山座治義、尾崎正雄、藤原 卓、山崎要一、村上大輔、朝田芳信(2021) 歯科医師国家試験出題基準に対する日本小児歯科学会としての考え方. 小児歯科学雑誌 59：80-94

笠原隼男、佐藤雅法、鷹股哲也、鍵谷真吾、正村正仁、大須賀直人、小口久雄、富田美穂子(2021) マウスガード材としてのバイオポリマーの研磨に関する検討—市販マウスガード材と研磨布の効果の違い—. スポーツ歯学 25：1-7

岡添 忍、中村浩志、中村美どり、榎原康生、加藤那奈、森山敬太、正村正仁、大須賀直人(2021) 上顎前歯部に3本の過剰歯を認めた1例. 松本歯学 47：39-47

#### 学会発表

第59回日本小児歯科学会 2021年6月

上顎前歯部に3歯の過剰歯がみられた1例：岡添忍、中村浩志、中村美どり、榎原康生、森山敬太、正村正仁、大須賀直人

第91回松本歯科大学学会 2021年7月

小児期における歯列状態の変化とマウスガードの維持の関係：正村正仁、土田 実、洞沢功子、黒岩昭弘、富田美穂子、鷹股哲也、森山敬太、大須賀直人  
歯科診療を受けることが出来なかった子ども達への対応：森山敬太、加藤那奈、上嶋博美、正村正仁、大須賀直人

第32回長野県小児保健研究会 2021年9月

3本の過剰歯がみられた1例：大須賀直人、加藤那奈、宮尾琴音、森山敬太、正村正仁

第92回松本歯科大学学会 2021年11月

初診時より継続的に管理した1例：加藤那奈、宮尾琴音、久保田香澄、三井美幸、森山敬太、正村正仁、大須賀直人

### 健康増進健康科学 口腔健康政策学ユニット

#### 著 書

矢ヶ崎 雅、富田美穂子、牧 茂(2021) 社会歯科学, 改訂版, MDU 出版会, 塩尻